



院長
窪田 道男 先生

当院は、特に矯正と歯周病を専門に対応し治療しています。そのため口腔内の清掃には特に気を使います。指導の際には、その方ごとの生活習慣に合わせて無理なく効果的なブラッシングができるようになってもらうように心がけています。



平山歯科矯正歯科医院
スタッフのみほさん。

歯ブラシも一種の道具ですので、その取り扱い方、使い方や効果の表れ方も違ってきます。個人のやる気を引き出す小道具として、見た目や使い勝手の新しさも大切になってきます。ルシェロの場合、普通の市販の形態と違うグリップ感は新鮮です。

矯正治療でのブラッシングのポイント?

矯正の患者さんは、自身の歯並びの見た目を気にして来院される方が大半です。ただ矯正歯科治療を行う際も、治療装置が入ることで汚れが付きやすく、お口のケアは第一番目に大切になります。そのモチベーションのきっかけにする上で、スマートなルシェロは効果的と言えるでしょう。



段差植毛



段差植毛が歯間はもちろんのことワイヤー裏、ブラケット等の周りまでしっかり届きます。

先端集中毛



先端集中毛は、ワンタフトブラシのように使用できるので細部までしっかりアクセスできます。

萌出途中のブラッシングに



10才女性。混合歯列期の萌出途中の部位があるためB-20Sピセラを処方。



4列植毛で刷掃面が広く毛足も短い為安定感があり、萌出途中の部位の隣接歯の近遠心面にあてやすい。

ブラシ圧の目安もわかりやすい段差植毛



段差植毛なので患者さんへのブラシ圧の目安もわかりやすい(短い毛が歯面に届く位の力)また、舌側は先端集中毛を使うポイント磨きで指導。



矯正治療の患者さんは特に10代の方が多く、歯肉炎のリスクも高くなるので来院時術者磨きを必ず行なっています。その際、ブラシのフィット感やブラークの落とし易さが実感でき、患者さんの共感も得やすくなります。

歯ブラシの柄がラバーで滑りにくく、形態が流線型で、把持しやすいことは、少し不器用な人にも受け入れやすいです。



日本歯周病学会認定
歯科衛生士
長島 由紀さん



歯科衛生士
二瓶 綾子さん

